

有限会社八幡平地域経営公社（農業）

環境配慮型の生産活動によるCO₂排出量の削減

事業活動の脱炭素化に向けた取組

CO₂排出量の可視化サービスの利用

- ▶ GLOBALG.A.P.認証の取得や水稻基肥の堆肥への全量切替など、これまでも社会情勢の変化に適応可能な持続的な生産活動に挑戦
- ▶ 環境保全型農業に関する情報収集を通じ、これからは農業や食品関連産業でも脱炭素化の取組が評価されるようになると予想
- ▶ 乾燥調製設備の更新を契機に、取引先の金融機関から紹介を受け、CO₂排出量可視化サービスを新たに導入
- ▶ 累積しているエネルギー使用状況やCO₂排出量データは、エネルギー消費量が多い生産設備の運用改善や設備更新の検討材料にするほかCO₂排出削減実績は取引先に対する環境配慮PRに活用予定



エネルギー消費量が多い乾燥調製設備

ポイント

- ▶ 農業に限らず自社事業に紐付きそうな社会のトレンド情報を積極的に収集
- ▶ 生産性や品質を第一に考え、生産現場で無理が生じない範囲でできることを選択して実践
- ▶ 既存設備の運用改善だけでなく将来的な設備更新も見据えた取組

メリット

- ▶ CO₂の排出削減の取組は、SDGsへの貢献を掲げている企業へのPRポイントになり、新規販路の開拓や取引拡大に有効
- ▶ データを蓄積することで、生産設備の更新に当たって省エネ・脱炭素型の設備が対象となる補助金などを申請する際に根拠資料として活用が可能

取組事業者より

脱炭素経営の実現に向けた今後の展望

当社は、地域の農地の保全・活用を図る持続性を持った組織として、活力ある地域社会の構築への貢献を経営理念に掲げて、鹿角市において平成8年から農業生産を行っています。

また、行動理念の一つに「生活の基盤である環境を保全する行動」を掲げ、設立以来、できる範囲での環境保全型農業の実践に挑戦し続けてきており、これから益々、環境負荷低減への取組が重要になっていくであろうと予期する一方で、農業生産者として生産性や品質をおろそかにできず、また社会情勢の変化によって生じている様々な経営課題も山積している状況です。

当社としては、CO₂排出量の見える化など、できる範囲での脱炭素化の取組に着手し、生産現場に無理をさせる事なく、環境配慮型農業の実践と美味しい米や地域の特産である啓翁桜などの高質な農産物の生産性向上の両立に挑戦していきたいと考えています。

